

■ はじめに

YS80 シリーズの予防保全の考え方をご説明いたします。

なお、ここでの記述は標準的な環境下でご使用されることを前提としており、設置環境の詳細は各製品の仕様書をご参照いただきますようお願いいたします。

■ 対象機種

YS80 シリーズの標準機種とします。

対象機種として記載のない製品につきましては、旧版（2 版）をご参照いただきますようお願いいたします。

■ 標準的な設置環境

周囲温度： 0～50°C

周囲湿度： 5～90%RH（結露なきこと）

その他の条件： 次の様な状況が発生しうる環境でのご使用は避けてください。

衝撃、振動、腐食性ガス、水、可燃物、高輻射熱、強紫外線、電磁界

■ 予防保全対象項目

部品名称	対象機種	推奨交換周期 ^{(*)2}	対応方法
ヒューズ	YS80 ラック計器 ^{(*)1}	3 年	部品交換 サービス拠点にて実施可能。
アルミ電解コンデンサ	YS80 ラック計器 ^{(*)1}	5～10 年	営業またはサービス拠点に ご相談ください。
リレー	SKYD、SALD、SDAU	60 万回	

*1 : SDBT、STED、SISD、SKYD、SALD、SIND、SDBS、SDAU

*2 : 推奨交換周期はあくまでも目安であり、使用状態・設置環境により実際には異なってきます。

計画的に交換をしていただくことを推奨いたします。

■ 保守についての考え方

有寿命部品交換および予防保全交換について、考え方を述べさせていただきます。

最近の製品では、小型化対応のためプリント基板上のパターンも細かく高密度になっており、従来のような部品単体での交換が難しくなってきています。

これらの事情から、製造当初の信頼性を保持するために、予防保全交換に関しては、アッセンブリ単位で実施する方針としております。

保全の内容は、お客様の保全作業に許される時間や予算、あるいは対象ループの重要度などで判断されることですが、上記の考え方に基づいて保全上のご配慮ならびにアッセンブリ交換へのご理解をいただければ幸いです。

なお、予防保全作業については一部制約が発生する場合があります。

詳細は担当営業／サービスにお問い合わせください。